

単独病床機能再編計画書

資料2-3

〔複数年度版〕

構想区域	尾三地域構想区域
医療機関名	山田記念病院

■計画概要

1. 令和2年4月1日時点の状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数		35				35
稼働病床数		35				35

※許可病床に精神病床, 結核病床, 感染症病床は含まない。(以下, 同じ)

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
平成30年度 病床機能報告	許可病床		35				35
	稼働病床		35				35
令和元年度 病床機能報告	許可病床		35				35
	稼働病床		35				35

2. 再編途中の状況

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
令和2年度	許可病床		35				35
	稼働病床		35				35
令和3年度	許可病床		35				35
	稼働病床		35				35
令和4年度	許可病床		35				35
	稼働病床		35				35
令和5年度	許可病床		0				0
	稼働病床		0				0

※必要に応じて行を追加してください。

3. 再編後の許可病床数

再編完了(予定)時期 令和 5 年 3 月

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
許可病床数		0			0
削減病床数 (許可病床ベース)	0	▲ 35	0	0	▲ 35

4. 病床機能再編計画の内容, 再編の影響(患者等)とその対応方針

医療法人社団明清会が一般社団法人三原市医師会に対し、山田記念病院に関する事業を譲渡することにより、三原市医師会病院と山田記念病院の統合を行う。統合後、存続医療機関は三原市医師会病院であり、山田記念病院は閉院となる。山田記念病院の患者及びスタッフは、原則として三原市医師会病院に引き継がれ、医療提供及び雇用への悪影響を回避する。

5. 病床機能再編計画と地域医療構想の関係 (再編が構想の実現に資すると考える理由)

三原市医師会病院と山田記念病院の統合は、規模の拡大と医療資源の集約により、医療提供体制の充実及び経営の効率化を実現するものである。特に、地域の人口減と高齢化が進行し、基礎疾患や合併症リスクを抱えた患者が増加する中で、脳神経外科がメインの山田記念病院が単体で生き残ることは容易ではなく、内科・外科・整形外科を擁する三原市医師会病院との統合はシナジー効果が高い。また、三原市医師会病院としても、脳神経外科を獲得することにより、交通事故患者等の対応を強化することができる。以上の統合効果は、尾三地域における地域医療の存続に資するものである。

6. 令和元年度病床機能報告から令和2年3月31日までの期間に再編を行った場合には、その理由を記載

該当せず。